

## AD 常務理事マーク・ウォートマン氏が来日、30周年記念行事へ出席

ADIの事務局があるイギリスより、ADI常務理事のマーク・ウォートマン氏が、「家族の会」30周年記念行事へ参加するために来日しました。

マーク氏は、6月4日開空に到着、事務局を訪問。5日と6日の2日間、総会、記念式典、レセプション、記念講演会総てに参加、記念式典では祝辞を、レセプションでは世界アルツハイマーレポートを宮島厚生労働省老健局長へ手渡し、アルツハイマーデー標語の発表と受賞の記念品授与を、総会2日目には会議での活発な意見や民主的な運営に感想を、公開記念講演会ではパワーポイントを使い、ADIの活動を紹介されました。

そんなマーク氏のために、「家族の会」では、国際交流専門委員の鷲巢典代さんと鷲巢さんの友人藤本節子さんのお二人が通訳として付き添いました。



記念式典で祝辞を述べるマーク氏



レセプションで宮島老健局長へアルツハイマーレポートを手渡す(右、マーク氏、左、宮島老健局長)



レセプションで、アルツハイマーデー標語受賞者へ記念品の授与をするマーク氏



公開記念講演会でADIの活動を紹介するマーク氏



総会の感想を述べる、マーク氏と通訳の鷲巢国際交流専門委員

## AD第25回国際会議・ギリシャ大会で片山禎夫医師が発表。ワークショップで認知症本人の取り組みについて「家族の会」の活動を事務局の水谷曜子氏が発表

去る3月10日～13日、ギリシャの古都テッサロニキで開催された、ADI第25回国際会議へは、招聘された片山禎夫医師と3名の代表団が参加しました。

日本がシンポジウムに招聘されての発表は2004年の京都会議以来のことでもあり、片山先生の発表「日本における認知症の人と家族への心理療法的治療とケア」にはたくさんのフラッシュがたかれ、終了後には講演のオフナーもありました。



日本のブースで記念撮影

また、ADIのワークショップでは、「日本における認知症の人の参加、関わりについて」事務局の水谷曜子さんが発表しました。このワークショップではスコットランドやイギリスの本人の発表もありましたが、参加者から「日本も頑張っているね」と高い評価を受けました。

会議では、アルバ、モーリシャス、アルメニアの3つの国の加盟を全会一致で承認、新しく設けられた本人を理事として選出する規定により、スコットランドのリンダ・ホッグさんが認知症本人理事に選ばれました。

ポスター発表には日本からもたくさんの参加があり、「家族の会」もブースを開設しました。



片山先生の発表



水谷曜子事務局次長の発表



評議員会(総会)で加盟国賛成の挙手をする吉野国際交流専門委員長

## 国際アルツハイマー病協会2009年写真コンテスト「認知症と共に生きる」日本の応募作品(アマチュア部門)3点は4位、5位、6位に



ギリシャの国際会議会場で展示されたアマチュア部門の写真

昨年、ADIが「認知症と共に生きる」をテーマに写真コンテストを開催し、日本でも応募を呼びかけました。全国からアマチュア部門に18点の応募があり、慎重に審査の結果、日本の応募作品として下記の3名の方の作品をADIへ送り本選を待ちました。今年1月にADIにおける審査があり、浦山さん4位、小宮さん5位、平ヶ倉さん6位でした。これらの作品は、ギリシャの国際会議会場でも入賞作品と共に展示され、パンフレットにも掲載されました。更に、その後、ベネゼエラの協会から浦山さんと小宮さんの作品をカレンダーに使わせて欲しいとの依頼もありました。



4位 浦山昌彦さん(福島県)  
餃子作り! 刃声かけをすると、別室から自ら出てこられて、腕まくらをして、具のこねかたをしてくださいました



5位 小宮利文さん(大阪府)  
二人とも何とも何とも素晴らしい笑顔。認知症になっても笑顔のある人生!!



6位 平ヶ倉文雄さん(大分県)  
沢山の収穫物。スタッフと美味しい食材をもとめて頑張りました。